

環境県民フォーラムだよ！

VOL. 26 2010年9月1日 発行



平成22年度総会が開催されました！

去る4月16日、奈良県文化会館で奈良県環境県民フォーラムの平成22年度の総会が開催されました。総会では、昨年度の事業報告の後、規約の一部改正(10人委員会に関する標記の明確化等)について承認されました。また、組織改正として、平成9年度の発足当時の分科会名称と実際の

活動内容が、時代の要請に応じて変化してきていることから、分科会の名称変更に関する組織改正についても承認されました。

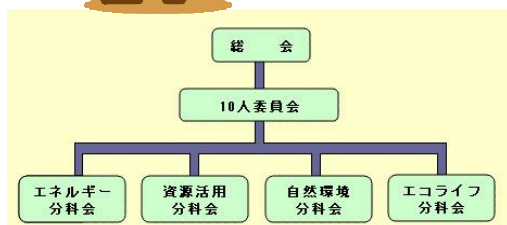
従来の大気分科会はエネルギー分科会、ゴミ減量・リサイクル分科会は資源活用分科会、そして水分科会はエコライフ分科会へと名称変更しました。自然環境分科会につきましては引き続き同じ名称での活動を続けます。その後、14年目を迎えるフォーラムの本年度の事業計画・予算が承認されました。

最後に、奈良県環境政策課長から今年度、奈良県が実施する環境関連新規事業についての説明があり、環境関連組織の改正に関して、ストップ温暖化県民会議が休止され、県民会議が担っていた実働部分をすべてフォーラムが行っていくことになり、フォーラムの役割が期待されています。

総会後には、サークルおてんとさん代表の清水順子氏をお招きし、「市民と社会ですすめよう！25%削減のために～COP15コペンハーゲン会議からCOP16メキシコへ～」と題して記念講演をいただきました。

講演では、「サークルおてんとさん」活動として、市民共同発電所づくりの紹介から始まりました。1号機は大和郡山市にある特別養護老人ホーム「あすな苑」に、2号機は奈良市にある社会福祉法人「ならのは」に設置され、事業費の半分は市民からの寄付でまかない、また発電量の一部を「おてんとさん貯金」への寄付として、さらなる「おてんとさん発電所」に向けた仕組みをつくっておられます。また、3号機についても既に計画中で、さらなる活動が楽しみです。

続いて、平成21年12月にコペンハーゲンで開催された気候変動枠組み条約第15回締約国会議(COP15)にNGOとして参加された内容について話されました。コペンハーゲン市内でのNPOとして参加されたデモンストレーションでの各国NPOとの交流や、市民のCOP15への関心を示しているパレード等の様子など、新聞等の報道では得られないお話しに、参加者は熱心に聴き入っていました。(事務局 伊吹)



エコな～らライフ宣言募集しています。

今年は4月1日より、エコな～らライフ宣言を募集しています。現在の宣言数は18,299な～ら(8月20日現在)。18本の樹木を植樹できます。今年の植樹バスツアーも野外活動センター(奈良市都祁吐山町)で11月14日を予定しています。宣言の締切は9月30日。まだ宣言されていない方は、是非宣言し、バスツアーに参加しましょう。

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信(0742-22-1668)
2. 宣言 web サイト(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)から宣言



エネルギー分科会

22年度の分科会活動計画

平成22年度から環境県民フォーラムの組織改正に伴い、従前の「大気分科会」から「エネルギー分科会」と名称変更となりました。これにより皆さまには馴染みやすい名称になったものと考えております。

さて、名称変更により活動内容が大きく変わるものではなく、今年度の活動といたしまして、昨年度に引き続き環境県民フォーラムの全体事業である「エコな～らライフ宣言」(ダイエットCO₂事業)の事務を担当いたします。

「エコな～らライフ宣言」とは地球温暖化の原因となるCO₂(二酸化炭素)を減らすため、各ご家庭で取り組める省エネ行動の中から自分にできるものを選んで「宣言」していただき、皆さまの宣言量を集計し、1000な～らで1本の苗木を県野外活動センターへ寄贈(植樹)する活動です。

「エコな～らライフ宣言」については9月20日(月・祝)に開催される「奈良県環境フェア」会場においても募集をしておりますので、エネルギー分科会ブースへお気軽にお立ち寄りください。多数のご参加をお待ちしております。

なお、11月14日(日)に宣言をされた方を対象に苗木の植樹バスツアーを計画しております。こちらの募集も併せて行っております。

また、環境に優しいエコライフの提案および推進を目的とした「鍋帽子を使ったエコクッキング」を平成23年1月20日(木)に橿原市保健福祉センターで開催するほか、同2～3月に見学会・体験学習を主眼においた環境バスツアーを実施する予定です。

ご案内は別途させていただきますので、多数のご参加をお願いいたします。(関西電力株式会社 新宅)

自然環境分科会

自然環境セミナーの開催

～テーマ「今、タンポポに何が起きているのか」～

去る3月6日(土)の午後、奈良県文化会館で兵庫県立人と自然の博物館研究員の鈴木武先生を招いてセミナーが開催されました。当日、会場にはタンポポ調査に関心のある23名の市民が集まり、鈴木氏によるタンポポについての最先端の話やタンポポにまつわる楽しい話を聞きました。

私たちにとって身近な植物の一つであるタンポポとはどんな生き物なのか。身近な野草を観察することで、未来の環境を考える機会になることと願っています。

調査は、2010年3月から5月末にかけて、市民による調査が西日本の19府県で行われ、奈良県でも、昨年の予備調査を含めて約2000あまりの報告書が集まりました。



下北山村で見つかったキビシロタンポポ



兵庫県立人と自然の博物館 鈴木武先生

次回の自然環境セミナーは、万葉植物の研究家で小原流の師範である片岡寧豊氏を招いて開催する予定です。

テーマ:「万葉の植物を通して見えてくること」

日時:平成22年9月25日(土)13:30～15:30

場所:吉城園(奈良公園内)

参加費:入園料 250円

(自然観察指導員奈良連絡会 久保田)

エコライフ分科会

《川の教室》の開催

この4月に、水分科会はエコライフ分科会に名称が変更となりました。その活動は、川の環境改善が図られるように、生活場面も含めてより広くなります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

今年も「川の教室」を、7月17日(土)に、大和川の支流の曾我川で開催しました。時期的には、豪雨が続いた2日後で、川の砂州は新しく堆積した状態でしたが、生物は礫岩か川岸の草根のある場所で、増水に流されなかったヤゴやトビケラ類、ドンコやヨシノボリ、沢ガニやオタマジャクシなどがおり、たくましく生きる彼らに、参加した子どもたちは感動していました。

子どもたち(21名の小学4・5年生)が生物観察をするリバーウォッチングなどの手助けを、葛中学校の宮内先生と環境クラブの生徒さん(8名)にもご協力いただき実施しました。また、水質の分析は、透視度と汚染度(パックテストでのCOD)の測定を、子どもたちに体験してもらいました。

当日の川は濁りが収まらず透視度で54cmだったため、この場所は、吉野川分水(下淵頭首工から)が一部合流する手前なので、吉野川の水も測定して、川の違いを子どもたちに説明しました。吉野川の水はさすがに透明度が高く92cmで、CODも曾我川 6-7ppmに対して、吉野川 3-4ppmでした。

宮内先生の説明では、吉野川水系の魚などが大和川水系にも流れてきて、曾我川での生物種は豊富になっているとのこと。灌漑用に必要な疎水とは言え、人々の暮らしの向上と自然界への影響は、常々に考えさせられるところです。ちなみに、十津川(熊野川)の猿谷ダムから吉野川へも分水があり、ここでは3つの川の水棲生物も混ざっていることでしょう。

何事もないように水を流している川は、その環境を調べることによって、いろいろなことを私たちに教えてくれます。これからも、エコライフへの想いを持って、活動が続けることとなりますので、よろしくお願いいたします。

この教室の実施では、県環境政策課や御所市の教育委員会と婦人会、葛小・中学校の方々にご協力をいただきました。おかげ様で、安全で充実した内容の教室を円滑に実施できたと思います。今回の教室の内容は、9月20日の環境フェアで発表の予定です。

(環境カウンセラー協会 吉田)



資源活用分科会

22年度の分科会活動計画

4月16日奈良県環境県民フォーラムの総会が開催され、平成22年度の事業計画が決定されました。当分科会の名称も、活動実態に合ったものに変更され、ごみ・リサイクル分科会から資源活用分科会となり、新たな出発をしました。

平成22年度の活動計画は以下の3点に決まりました。

1. 3R推進の一環で、「レジ袋削減に向けた取り組み推進」として次の取り組みを行う。
 - ・ 奈良県環境県民会議が取り組んでいるレジ袋有料化への取組検討への参画
 - ・ 県実施のマイバックキャンペーンへの協力
 - ・ 環境フェア等のイベントでの啓発活動、
 - ・ 環境にやさしい買い物キャンペーン」の実施
2. 先進的な環境配慮型資源活用企業や施設の見学会
3. ごみの回収・再資源化実態調査及びデータの更新

また、既に実施又は実施中の活動は以下のとおりです。

環境の日街頭キャンペーン(6/4)に参加

過去調査のフォローアップ事業として、市町村ゴミ処理実態調査を実施中

(結果をパネルにして環境フェアに出展予定)

今後も活動計画に沿って、マイバックキャンペーンの実態、見学会など県民の環境意識向上のための活動を推進していきます。

(王寺町生活学校 鎌倉)

新入会員の紹介

特定非営利活動法人 奈良ストップ温暖化の会 (NASO)

◆事務所所在地:奈良市二条町 2-5-3(西大寺駅から徒歩5分)、会員数:167名

みなさまこんにちは! これまでも県民フォーラムのみなさまとはいろんな地域・イベントなどで一緒させていただいていますが、今回縁あって一員となりました。改めましてよろしくお願いたします。

2001年にストップ温暖化推進員の会として発足し、今年で10年目(県地球温暖化防止活動推進センターとして5年目)の節目を迎えています。設立当初から一貫してストップ温暖化普及啓発(環境講座やイベント)を中心に活動を続けてまいりましたが、センター指定以降は各種研修や養成講座、活動の相談・支援・情報提供・教材貸出し、活動表彰広報事業、さらにはパートナーシップ連携をめざした市民・県や市町村及び企業・NPO等との協働事業など、また地域協議会や全国の推進センターとの連携事業等にも活動の環が広がっています。今後とも県民フォーラムのみなさまとの連携をより一層深め、更なる活動の環を広めていきたいと願いたします。(遊津)



ライトダウンイベント(業師寺にて)

NPO法人さくurai菜の花プロジェクト

「NPO法人さくurai菜の花プロジェクト」は桜井市の環境を守る会の意志を引き継ぎ平成21年9月に設立しました。

菜の花栽培を中心に環境活動並びに遊休農地の活用に関する事業を行い、環境の保全と地域の活性化及び子どもの健全育成に寄与することを目的に、会員一同頑張っています。現在正会員35名、法人会員5社と、微力ではありますが、私共の活動が地域のみなさんの協力のもと、孫・子が安心して住める笑顔の集う村や町作りの一助となることを願っています。

まだ循環型社会の一步を踏み出したばかりです。多くのボランティアの参加をお待ちしています。一緒に汗を流してみませんか! (西田)



第13回 奈良県環境フェア

日時:平成22年9月20日(月・祝)

場所:奈良県産業会館(大和高田市幸町)

内容:環境保全活動・環境関連製品のブース展示、小中学校環境取組発表会、自転車発電・自然工作等体験コーナー、ソーラーパネル大集合、キャラクター着ぐるみ大集合、低公害車展示、クイズラリー等

問い合わせ先:第13回奈良県環境フェア実行委員会
(奈良県環境政策課内:0742-27-8732)



賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは、賛助会員として活動を支援いただく企業、団体等を募集しております。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますようお願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ!」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。

編集・発行:奈良県環境県民フォーラム

事務局:〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp